

チェロ首席 矢口 里菜子 Rinako Yaguchi vol.33



祖父が山形出身。懐かしいような、ほっとする感じ。

♪楽器を始めたきっかけは？

オーケストラプレイヤーを目指したきっかけは？

最初はヴァイオリンをおもちゃ代わりに与えられていました。5歳の頃、両親の手ほどきでチェロを始め、元東京フィル首席・馬場省一先生に師事しました。10歳からは、山本直純先生主宰のジュニアフィル(トランペット首席の井上さんもOB!)に入り、仲間と演奏する楽しさや、オーケストラのレパートリーを沢山知りました。2年間のドイツ留学からも多くの刺激を受けました。ドレスデンの歌劇場に連日通った日常は贅沢でしたし、ミュンヘンでバイエルン放送響を聴いた際(ヤンソンス指揮、ヨーヨー・マ独奏でチケットは完売。運よく関係者席をいただき、最前列中央の席でした!)は、オーケストラ全体が肩を組んで迫ってくるような響きに「恐怖」すら覚え、衝撃でした。様々な経験から今のご縁に繋がり、嬉しいです。

♪山形/山響の印象は？

祖父が山形出身でして、ずっと来たいと思っていました。初めて山形駅に降り立ったときは、懐かしいような、ほっとする空気を感じました。3年前の定期演奏会のことです。メインがベートーヴェンの「田園」でしたが、山響は独自のスタイルを確立しているという印象を受けました。団員の皆さんの朗らかな雰囲気も、音楽に表れていますね。

♪好きな作曲家・曲は？

そのとき演奏する曲が一番好きです。今回の定期演奏会でも演奏するラヴェルでは、想像力をかきたてる音楽に感動します。留学中にはオペラを観る機会が多く、大好きになりました。山響でもオペラの機会が増えていきそうで、ワクワクしています。

♪チェロの魅力は何ですか？

ずっと心に入ってくるような音色と音域の広さです。チェロだけでアンサンブルが出来るほど、バスからメロディーまで様々な役割を担える楽しさもあります。だからなのか、チェロ弾き同士はライバルというより仲間意識が強い気がします。

♪好きなチェロ奏者は？

たくさんいますが…ハンガリーの巨匠、マイクロシュ・ペレー

二さんは、チェリストの神様だと思います。常人離れた演奏技術なんですけど、その音楽は自然体で素朴で、虚飾がない。ご自身も素朴なお人柄で、ただただ音楽への深い愛に生きていらっしゃるという印象です。また、私が尊敬する恩師の山崎伸子先生は、ソリストとして第一線で活躍されている方ですが、室内楽奏者としても多くの音楽家から慕われています。女性チェリストとしての生き方もずっと憧れます。

♪使用している楽器について教えてください。

海外の先生も含む多くの方から「良い楽器だね、イタリア製？」などと言われますが、日本製なんです。父が35年前、尾崎幸夫さんに作っていただいた楽器を、私が14歳で譲り受けました。ゴフリラモデルということで少し大ぶりな、骨太な姿をしています。素直な音色とパワーが持ち味で、まだまだ可能性を秘めた楽器です。ちなみに弓は福田弓人さん作。日本製にこだわりはないのですが(笑)ご縁があった楽器と弓です。

♪山響以外の活動についても教えてください。

「エンター・ザ・ミュージック」(BSテレビ東京・毎週土曜23:30~)で、指揮者の藤岡幸夫さんプロデュースの弦楽四重奏団「The 4 Players Tokyo」としての活動が始まっています。ベテランの方の中で、学ぶことが沢山あります。カルテットで得たことを私なりに山響の演奏でも活かしていきたいです。山形公演も実現したいです!是非、放送をご覧ください。

♪休みの日の過ごし方は?趣味・特技はありますか?

うさぎを飼っていて、メロメロになって愛でています。ネザールドワーフの男の子です(笑)ドライブも好きです。これからは、山形の美味しいものをもっと知りたいです!

♪最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

山形の皆様に愛され育まれてきた山響の響きの中に加わることができ、光栄に思っております。若いプレイヤーも増えていますが、長年育まれてきた音楽を尊重しつつ、更に進化させていけるよう精進したいと思います。発展し続けていく山響を今後も楽しみにしてください!どうぞよろしく願いいたします。